

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2013年度日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会の申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

9月5日(木)～9月8日(日)の大会期間中、「練習会場注意事項」に基づき練習することができる。

3. 参加校受付について

参加校受付の受付時間及び受付場所は次のとおりとする。

期 日	受 付 時 間	受 付 場 所
9月5日(木)【大会前日】	5日(木) 13:30～15:30	国立競技場大会議室
9月6日(金)～8日(日)【大会期間中】	開門時刻～閉門時刻	インフォメーション・センター

インフォメーション・センターの場所については、場内図を参照のこと。開門時刻・閉門時刻については、14.(14)を参照のこと。

4. 各種書類について

大会期間中の各種書類の配布及び提出の窓口については、次のとおりとする。

書 類 名	配布場所	提出先・依頼先
不 出 場 届	インフォメーション・センター及び招集所	招集所
重 複 出 場 届		
リレーオーダー用紙	招集所	
記録証明書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
第4位から第8位までの賞状	インフォメーション・センター	

招集所の場所については、場内図を参照のこと。

5. 招集について

- (1) 招集所は、室内練習場に設置する。なお、ハンマー投(予選)の招集は日本大学陸上競技場で行う。
- (2) 種目別の招集開始及び完了時刻は、プログラムの競技日程に記載してある。
- (3) 所定の時刻に招集所で競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受ける。その際、競技者は、ナンバーカード及び商標等の点検を受ける。
- (4) 競技規則第144条2(b)により携帯電話等の機器は、競技エリア内に持ち込むことはできない。
- (5) 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ「重複出場届」に必要事項を記入し、競技者係(招集所)に提出すること。「重複出場届」は、インフォメーション・センター及び招集所に用意してある。
- (6) リレー種目に出場するチームは、「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、その種目(1組目)のラウンド(予選、決勝等)ごとに招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。「リレーオーダー用紙」は、招集所に用意してある。
- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を棄権したものととして処理する。

6. 不出場(棄権)について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「不出場届」を提出すること。

- ① 9月5日(木)までは、日本学連HP(<http://www.iuau.jp/>)に掲載してある「不出場届」に必要事項を記入し、FAX(03-5304-5569)で提出する。
- ② 9月6日(金)以降はインフォメーション・センター及び招集所に用意してある「不出場届」に必要事項を記入し、競技者係(招集所)に提出する。やむを得ず、競技者係(招集所)に提出できない場合は、FAXで提出する。

7. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、1名につき2枚配布する。(競技規則第143条7、8)
- (2) ナンバーカードは、そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目に参加する競技者は、胸、または背だけでもよい。
- (3)トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識(1枚)を招集時に配布する。ただし、100m、100mH、110mH、5000m、10000m及び10000mWに出場する競技者には、腰ナンバー標識を2枚配布する。なお、腰ナンバー標識はレース終了後に回収する。
- (4) ナンバーカードの布地及び数字の色は次のとおりとする。

○男子:「黄色地×黒数字」 ○女子:「ピンク地×黒数字」 ○5000m、10000m及び10000mW:「オレンジ地×黒数字」

○ハンマー投(予選)：「白地×黒数字」

(5) ナンバーカードは、参加校受付の際に配布する。ただし、5000m、10000m及び10000mW並びにハンマー投(予選)に使用するナンバーカードは招集時に配布する。

8. 用具について

- (1) 棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。
- (2) その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、個人所有の投てき物の使用を希望する場合は検査を受け、使用許可を受けなければならない。
- (3) 個人所有の投てき物を使用する場合、競技開始時刻の1時間30分前から1時間前までに検査を受けること。ただし、競技開始が9時30分以前の種目については、8時以降に検査を行う。また、ハンマー投(予選)については、9月5日(木)12:00~14:00に国立競技場用器具庫にて持ち込みを受け付ける。検査を経て合格した投てき物には、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがさないこと。なお、この場合、個人所有の投てき物については一時的に競技場備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。また、返却は当該種目の競技終了後に返却場所にて行う。検査場所及び返却場所については次のとおりとする。

種目	検査場所及び返却場所
砲丸投、円盤投、ハンマー投(決勝)及びやり投	国立競技場用器具庫
ハンマー投(予選)	検査場所：国立競技場用器具庫 返却場所：日本大学陸上競技場 競技実施場所

9. 競技について

(1) トラック競技について

- ①トラック競技における招集完了後の練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②トラック競技は、すべて写真判定システムを使用する。
- ③男女1000m、2000mでは、不正スタート発見装置を使用して競技を行う。
- ④競技規則第162条7[国際]の適用により、不正スタートをした競技者は失格とする。
- ⑤スターターの合図は、英語(“On your marks”, “Set”)で行う。
- ⑥5000m、10000m及び10000mWは、気象状況により給水を行う。
- ⑦競歩競技において、競歩審判員主任に単独で競技者を失格にする権限はない。
- ⑧スタート地点とフィニッシュ地点が異なる種目では、招集所に配布する指定された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで運搬する。
- ⑨短距離走では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走ること。

(2) フィールド競技について

- ①ハンマー投(予選)は、日本大学陸上競技場で行い、上位12名を決勝進出者とする。なお、決勝は予選の翌日に国立競技場で実施する。
- ②フィールド競技における招集完了後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ③走高跳及び棒高跳の練習は、ゴム製バーを用いて行う。
- ④走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1m95 2m10	2m00	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	+ 3 cm
	女子	1m55 1m65	1m60	1m65	1m69	1m73	1m76	1m79	
棒高跳	男子	4m70 5m00	4m80	4m90	5m00	5m10	5m15	5m20	+ 5 cm

	女子	2m90 3m20	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m75	
--	----	--------------	------	------	------	------	------	------	--

⑤サークルを使用する投てき競技の公式練習は、1回につき1分以内とする。

⑥投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投及びハンマー投(予選)の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。

(3) 混成競技について

①招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技者控室にて待機し、競技役員の指示に従うこと。

②混成競技者控室は、男子が更衣室C、女子が更衣室Dを使用すること。混成競技者控室への競技者及び競技役員以外の立ち入りは、一切禁止とする。

③走高跳及び棒高跳は、2ピットで行う。

④走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別			練習	1	2	3	4	5	6	以降
十 種 競 技	走高跳	低	1m60 1m75	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	+ 3 cm
		高	1m70 1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	
	棒高跳	低	2m80 3m40	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	+ 10 cm
		高	3m80 4m20	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	
七 種 競 技	走高跳	低	1m30 1m40	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	+ 3 cm
		高	1m40 1m55	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	

(4) 競技結果と番組編成について

①競技結果及び準決勝以降の番組編成リスト等はスタンド入口第1ゲート付近に掲示する。

②タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がありレーンが不足する場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする。(競技規則第167条)

③競技結果等は記録処理終了後、随時、日本学連携帯サイトにて速報として発表する。

日本学連携帯サイト <http://www.iuau.jp/i/> (大会プログラム表紙のQRコード参照)

(5) その他

①競技規則第145条2及び第162条5[国際]の適用により、当該条項に記載する不適切行為をこの競技会中で2回行った競技者は失格とし、

この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。ただし、競技規則第162条5[国内]は適用しない。

10. 抗議と上訴について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンで正式発表されてから、競技規則第146条2に定められた時間内にその競技者または代理人がインフォメーション・センターに申し出ること。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通して上訴審判員に文書で申し出る。(競技規則第146条)

11. ドーピング・コントロール・テストの実施について

ドーピング・コントロール・テストは、日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。

12. 対校得点について

(1) 対校得点は各種目、第1位が8点、第2位が7点、第3位が6点、第4位が5点、第5位が4点、第6位が3点、第7位が2点及び第8位が1点とする。

なお、同順位により、対校得点を割る場合には小数計算を行う。その計算は記録センターにて行う。

(2) 対校得点が同点の場合、優勝種目数の多い方を上位とする。(優勝種目数が同数であれば、第2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様。)

13. 表彰について

- (1) 総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において最多の対校得点を獲得した大学には、閉会式にて賞典を授与する。
- (2) 男女各種目において第1位に入賞した競技者が最も多かった大学には、閉会式にて賞典を授与する。
- (3) 各種目の第1位から第3位までに入賞した競技者にはメダルと賞状を表彰式にて授与する。
- (4) 表彰を受ける際には、上衣は各校の公式ユニフォーム(Tシャツまたはジャージ)、下衣は各校の公式ジャージを着用すること。その際、上衣にはナンバーカードを背及び胸の2枚着用すること。
- (5) 第4位から第8位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、インフォメーション・センターにて受け取ること。

14. その他

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告及び展示物に関する規程」を遵守すること。基準を超える商標についてはテープ等で隠すこと。大会期間中における競技開始前の本競技場での練習においても同様とする。
- (2) 競技用靴については、競技規則第143条を参照すること。
- (3) IDコントロールを実施するので、配布したIDカードは常に携帯すること。
- (4) 更衣室は、男子が更衣室B、女子が更衣室E及びF利用できる。更衣室は更衣のみに使用し、私物を放置しないこと。
- (5) インフォメーション・センターは千駄ヶ谷門スロープ上に設置し、開設時間は大会期間中の開門時刻～閉門時刻(下記(14)参照)とする。
- (6) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的にインフォメーション・センターにて保管するが、その他の盗難及び紛失に関しては、一切の責任を負わない。
- (7) 「記録証明書」の発行を希望する競技者は、インフォメーション・センターに申し込むこと。
- (8) 輸送について
 - ①ボールの事前輸送および返送については、事前に日本学連 HP より所定の様式をダウンロードし、日本学連事務局に FAXにて8月26日(月)15時まで申し込むこと。なお、当日の返送斡旋申込は受け付けない。
 - ②やりの事前輸送については、9月5日(木)着の期日指定で以下の住所に送ること。
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘10-2 国立競技場事業課気付 公益社団法人日本学生陸上競技連合」宛
 - ③やりの返送並びにチーム荷物等の輸送を希望する場合は、インフォメーション・センターにて各自で輸送の手続きを行うこと。
- (9) 部旗、横断幕の掲出についてはバックスタンド及びサイドスタンド中段の手すりのみ可能とし、掲出は先着順とする。なお、掲出の際は必ずひもを用いること。施設保護のため、粘着力の強いガムテープ等の使用は禁止する。また、主催者から移動等の要請があった場合は速やかに応じること。のぼり旗の掲出は禁止する。
- (10) 大会議室でのトレーナー活動は、事前に主催者の許可を得た参加校に限る。
- (11) 主催者の許可なく競技場内の電源を使用することを禁止する。
- (12) 競技中に発生した傷害及び疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2013年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- (13) 競技運営に関すること以外での芝生への立ち入りは一切禁止とする。
- (14) 開門時刻及び閉門時刻は次のとおりとする。

期 日	開 門 時 刻	閉 門 時 刻
9月6日(金)	7:00	競技終了後1時間
9月7日(土)	7:00	競技終了後1時間
9月8日(日)	7:00	閉会式終了後1時間

- (15) その他、不明な点は、インフォメーション・センターに問い合わせること。